

# 医療法人アレックス創立 10 周年記念学会及び祝賀会

## ～初心～

### 【日時】

平成 24 年 9 月 29 日

### 【場所】

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢  
(軽井沢プリンスホテル)

### 【参加者】

池田 真琴 (理学療法士)  
長谷 拓也 (理学療法士)  
平石 大樹 (理学療法士)  
山根 一将 (放射線技師)



### 【はじめに】

今回、医療法人アレックス創立 10 周年記念学会及び祝賀会に参加させていただきました。

以前、アレックスグループの中村 崇先生 (アレックスグループ 副理事長、理学療法士) と小林 久文先生 (リハビリ部部長) は、当院に施設見学、手術見学、来院記念講演をしていただきました。

学会は、様々な職種のスタッフが 1 年間に勉強した事をスライドにまとめ、各セッション発表していました。座長もスタッフが行い、各セッションが終わると、他施設との情報の共有を目的にディスカッションしていました。

祝賀会では、アレックスグループ、来賓の先生方とお話しさせていただきました。



### 【アレックスグループとは】

平成 15 年 9 月 18 日に佐久平整形外科クリニックが長野県佐久市に誕生しました。医師 2 名、看護師 3 名、事務 3 名、理学療法士 2 名、健康運動指導士 1 名、福祉レクリエーションワーカー 1 名、放射線技師 1 名の合計 13 名で開業しました。その後、施設は増設され、現在 5 施設、スタッフ数 120 名を超える日本トップクラスの整形外科専門クリニックグループです。今年の 12 月には、新

たに 6 つ目の施設として、関節鏡センターが東京に増設されます。アレックスグループは、全スタッフがスキルアップを目的に様々な学会や研修に参加しています。また、1年間勉強した事などをまとめ、年に1回開催されるアレックスグループのクリスマス学会で発表し、全スタッフで情報の共有をし、ディスカッションをしています。

## 【シンポジウム】

- ・ 『Arthroscopy の 10 年と未来』
- ・ 『Rihabilitation の 10 年と未来』
- ・ 『Exercise の 10 年と未来』

上記の内容は、AR-Ex (Arthroscopy Rehabilitation Exercises) の頭文字を演題にしたシンポジウムでした。このシンポジウムでは、各アレックスの施設の院長はじめ来賓の先生方が演題に沿った発表を行っていました。

## 【職員発表】

職員発表では、『患者サービス部門』と『診療部門』を聞く事ができました。スタッフ1人1人の意識の高さ、患者さんを思う熱い気持ちが伝わってきました。学会の合間やランチョンセミナーの前に中村副理事長やアレックスグループのスタッフの方が体操の指導をしてくれました。



## 【アレックスグループに新たな施設】

2012年12月に関節鏡視下手術に特化した有床クリニックが東京に開院予定との事です。鏡視下手術では、肩関節、手・肘関節、股関節、膝関節、足関節を専門とします。またこの施設には、最新の医療システムが導入されるとの事でした。

## 【祝賀会】

祝賀会では、アレックスグループ、来賓の先生方とお話し、交流させて頂く機会がありました。



## 【感想】

今回、AR-Ex グループの 10 周年記念学会・祝賀会に参加させて頂き、多くの刺激を受けました。記念学会では、職員発表とシンポジウムがありました。職員発表では、一人一人がテーマを決め、病院システム、患者サービス、治療・検査などについて職種を問わずに報告がなされていました。

「Rehabilitation の 10 年と未来」というシンポジウムでは、理学療法士としての関わり方、理学療法の進め方を再確認することが出来ました。その中で「勉強した分だけ人の役に立てる」という当然の言葉ですが、重みを感じました。常に勉強し、知識をアップデートさせ、患者さんに提供していきたいと思いました。

今回、参加させて頂いて「AR-Ex グループは凄い！」と率直に思いました。スタッフ全員が同じ方向を向いていて、個人のモチベーションの高さ、そして組織としての団結力を感じました。今後、当クリニックがどうあるべきか、そして自分自身がどうあるべきかを考えることができました。この経験をスタッフに伝え、より良いクリニックにしていけるように日々頑張っていきたいと思えます。研修に参加させて頂き、ありがとうございました。最後に、10 周年記念学会・祝賀会に招待頂いた AR-Ex グループの皆さん、ありがとうございました。

池田

今回、医療法人アレックスの創立 10 周年記念学会及び祝賀会に参加させて頂く機会を頂きました。この学会は各アレックスグループの院長始め、アレックスグループと繋がりのある病院の院長の方々が、『リハビリテーションやエクササイズのこれまでの 10 年と、これからの未来』というテーマについて講演されておりました。また、アレックスグループのスタッフ、理学療法士・看護師、更には事務スタッフからの発表もあり、それぞれのセッションテーマに沿って行われておりました。その発表の中でも特に気になったテーマがありました。当院でも今、特に力を入れているものの一つではありますが、『接遇セミナーで学んだこと』というもので、いかに患者さんの不満やクレームを減らし、満足度をあげられるかという内容でした。この発表以外にも、得られた事、または再認識させられたことが多くあり、早々に当院でもアウトプットし、浸透させていこうと思えます。また、アレックスのスタッフの発表や質疑に対する応答では、特に以前、当院にも来院され講演を行って頂いた、小林久文理学療法士の答え方を拝見し、質問に対する高い知識を持ち合わせた的確な答え方は聴いていて、本当に凄い人だなと思いました。その他のスタッフにも学会終了後に開かれた祝勝会で話す機会がありましたが、同じコメディカルとして本当に刺激になり、もっと今まで以上に研鑽して行かなければと思う学会でした。今回の学会で、得られたこと、感じた熱い気持ちを臨床で実践し、業務に携わっていきたいと思えます。

山根

日本トップクラスの整形外科クリニックのアレックスグループの学会及び祝賀会に参加させて頂き、学ぶ事が多くありました。アレックスグループのスタッフの方達は、スキルアップに対して、非常に意識が高く、学会発表には毎回何名かのスタッフが発表したり、医師の学会で理学療法士の方が受賞したりと、もの凄いスタッフが存在する施設であることを再認識しました。研修には、様々な職種スタッフが参加し、こういった場で他の施設と情報を共有して、お互いを刺激し合っているようにも思いました。記念学会のシンポジウムでは、大阪厚生年金病院スポーツ医学センターセンター長 アレックスグループ医療顧問の米田稔先生が発表した『私の考えるスポーツ選手の完全復帰』に関しては、非常に有効な情報を得る事ができました。当院でも術後の患者さんがスポーツ復帰するにあたって評価チャートを作成し、患者さんの満足度を評価することが大事であることを認識しました。アレックスグループのスタッフの方達の発表では、非常に興味深い内容のものばかりでした。夜の祝賀会では、アレックスグループ、来賓の先生方とお話しする機会があり、凄く学ぶ事が多かったです。

林 英俊理事長の考えをスタッフの皆さんが理解し、同じ方向性に向かって皆でアレックスグループを築き上げている印象を強く受けました。私達ももっと色々な事を学んで精進していかなければならないと再度気付かされました。今回の学会及び祝賀会に参加させて頂き、学ぶ事が非常に多く、貴重な経験をさせて頂いた事に深く感謝致します。アレックスグループのスタッフの皆さんのように意識を高く持って、頑張っていきたいと思えます。

長谷

今回アレックス 10 周年記念学会および祝賀会に参加させて頂き、率直に多くの刺激を受けました。

記念学会ではアレックスグループの職員を中心に多くの発表が行われ、医師や理学療法士のみならず事務職員やクラークの職員まで研究発表を行っていることに驚きました。グループ全体で医療サービスの向上に努め、さらに技術や知識向上のため凄まじく努力している姿に同じ医療人として焦りすら感じました。『勉強しただけ人の役にたてる』、初心を忘れず努力する彼らの姿をみて、とにかく今やるしかないという気持ちを再度思い直しました。また、勉強だけでなく各イベントなどもいっさい手を抜く事なく常に全力で臨んでいることを知り、医療人である前に一人の人間としても自分がいかに未熟であるか痛感しました。患者さんに最良の医療サービスを提供するため、あるいは Dr とより近い距離で仕事を行える楽しさを早く実感していくためにはまだまだやるべき事はたくさんあります。アメリカでの研修でもそうでしたが、自分の未熟さをしっかりと受け止め、初心を忘れず日々の臨床にあるいは学習する姿勢に反映させていけるよう頑張りたいと思えます。

また、クリニック全体が一つのチームとして団結し、一人の患者さんに対して全力で向かって行けるような環境をもっともっと作っていくべきだと感じまし

た。そのためには一スタッフとして自分は何ができるのか？一人の人間として人を思いやる気持ちも忘れる事なく日々を過ごして行ける様頑張りたいと思います。

最後になりましたが、今回このような貴重な経験を頂いた院長初め、湯朝・岩井副院長ならびに不在中ご迷惑をおかけした全てのスタッフに感謝申し上げます。ありがとうございました。

平石